

1月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 令和7年1月22日(水)14時55分～15時44分
- 2 開催場所 武雄市役所 4階会議室
- 3 出席者名 教育長：松尾教育長
教育委員：大庭教育長職務代理者、牟田委員、田中委員、松尾委員
事務局：野口こども教育部理事、真崎教育総務課長、徳永こども未来課参事、福田学校教育課長、武富多様な学び支援室長、宮崎学校教育課参事、石橋新しい学校づくり課長、林新しい学校づくり課教育監、朝長生涯学習課長、宮原文化課長、溝上図書館・歴史資料館長、古川こども未来課係長、福田こども未来課係長、草津教育総務課長代理、杉原教育総務課主幹
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【松尾委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 令和6年12月定例教育委員会会議録
- 8 (1)教育長の報告
 - 1 はじめに
 - ・1/21：武雄スポーツフェスタ2024表彰式・第65回郡市対抗県内一周駅伝大会結団式
 - ・雄武町との児童交流 出発式：2/1(土)4:50～ 帰着式：2/5(水)19:00～
 - 2 令和7年度の学級数（1月10日の事前報告数、比較はR6.5.1現在）
 - ・小学校：通常102(-1) 特支48(+3) 計150(+2) 児童数2,534(+2)
 - ・中学校：通常35(-1) 特支19(+2) 計54(+1) 生徒数1,237(+16)
 - 小中計3,771(+18)
 - 3 国の動き
 - ◎令和7年度政府予算案（別紙新聞記事）
 - ・定数関係：R7から小4年教科担任、R8から中学校35人学級、中学校生徒指導拡充
 - ・給与関係：教職調整額を令和12年度(2030)までに10%へ、R8.1月から5%へ
 - ◎中央教育審議会への2つの諮問
 - ・初等中等教育における教育課程の基準等の在り方（学習指導要領の改訂）
※新学習指導要領に基づく授業は令和10年度(2028)から順次開始する見込み
 - 1. 標準授業時数を柔軟化するなど、学校の裁量の拡大
 - 2. 小中高を通じた「情報活用能力の抜本的向上を図る方策の検討

3. 不登校や、特定分野で特に優れた才能がある児童生徒に対応するシステム構築
- ・多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を加速するための方策
 1. 社会の変化や学習指導要領の改訂等も見据えた教職課程の在り方
 2. 教師の質を維持・向上させるための採用・研修の在り方
 3. 多様な専門性や背景を有する社会人等が教職へ参入しやすくなるような制度

4 その他

- ・ 1/26：第71回全国文化財防火デーの火災防御訓練(武雄温泉楼門及び旅館街一帯)
- ・ 2/8～3/9 佐大・武雄市文化交流事業特別展:佐賀を動かす～鍋島茂義と佐賀藩政～
- ・ 2/7：市連Pとの教育懇談会 ・ 2/14～2/16：第65回郡市対抗県内一周駅伝大会
- ・ 今年度の教育委員会の予定：定例2/19(こども教育会議も) 臨時2/28 定例3/19

9 議 事【公開】

(1) 提出議案

第19号議案 武雄市保育所等給食費支援事業費補助金交付要綱の一部を改正する要綱

(2) 報告事項

- ① 武雄市史編さん委員会「執筆者」の委嘱について
- ② 令和7年度学校閉庁日について
- ③ 図書館の選書について
- ④ 各課等からの行事報告

10 次回開催日程について

11 その他

12 閉会

午後2時55分 開会

○教育長職務代理者

皆さん、御事情があらわれて欠席の方もおいでですが、そろいましたので、1月の会議ということで、議長として最初の挨拶ということになりますけど、新年おめでとうございます。また今年もよろしくお願ひしたいということになりますけど、去年は正月から大変な年で、世界中、日本中混沌とした、また、ますますそれに輪をかけたような流れもございしますが、この定例教育委員会については肅々と建設的に進めていけたらいいかなと思いますので、今年、まずは今年度3月まで含めてよろしくお願ひいたしたいと思います。

それでは、1月の定例教育委員会を始めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

まず、議事録署名人については、1月は松尾委員になっておりますので、よろしくお願ひいたします。

教育長さんより非公開の議決等についてよろしくお願ひします。

○教育長

表紙の裏の面ですけれども、珍しく今回は非公開の議事がございませぬので、採決等はないということですのでよろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

それでは、3番、前回の会議録の承認ということで、内容を読んでいただいて、修正、訂正等々ありましたら、挙手の上お願ひいたしたいと思います。B委員さん。

○OB委員

前回の議事録で19ページになるんですけれども、私が述べさせていただいた部分で、まず私の発言の7行目のところの「日頃子どもたちの遊びが」というところに「日頃の」の「の」を入れていただきたいのと、そこが7行目で、今度は10、11行目のところで、「勉強が始まる部分で大丈夫かなと思っていたが、就学前に」というところの流れなんですけれども、つながりがちょっとおかしくなっているので、「勉強が始まる部分で大丈夫なのかなと就学前に不安に思うことがかなりあったが」にちょっと訂正をしていただきたいなと思っています。

○教育長職務代理者

読み直さなくても結構ですかね。訂正方よろしくお願ひします。

ほかにございませぬか〔「なし」と声あり〕。

ないようでしたら、承認を取ってまいります。

前回会議録の承認、一部訂正をお願ひいたしたところでの承認ということで、承認される教育委員さん、挙手をお願ひいたします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございます。承認されました。

続いて4番、教育長の報告ということで、別紙での報告をお願いいたします。

○教育長

では、新聞記事と両面印刷の資料を準備しておりますので、それに従って説明いたします。

昨日夕方、郡市対抗県内一周駅伝の結団式が行われまして、本番は2月14、15、16日です。中学生から社会人までですけれども、全国都道府県対抗女子駅伝で第3区を走った中野さんも昨日来てくれて、全国で十七、八番目のタイムで、佐賀県の上位20番台に非常に貢献してくれました。今回、県内一周でも走ってくれるものと思っています。

そういったことで、去年が第10位でしたので、1つでも上げて1桁の順位を狙っていくということで監督さんが話されていまして。

雄武町との交流がよいよ迫ってまいりました。来週の土曜日ということで、非常に朝早いですけど、4時50分から出発式、そして2月5日に帰着式ということで、この前の19日曜日に第4回目の事前研修を行いました。松尾委員さんには参加していただきますけれども、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。理事さんもよろしくお願ひします。

2番目は来年度の学級数の予測というか、1月10日現在で報告を上げないといけませんので、これに従って武雄市の小学校に何人の先生、中学校に何人ということで教員が配当されることになっています。小・中合わせて普通学級は少しずつ減ってきますけれども、特別支援学級が増えるということで、全体としては学級数が増えています。3,771ですけれども、これから大体50人ぐらい県立中関係で減ります。3,700ちょっとという形で来年は小・中学生の数になるかなと思っています。

国の動きがどんどん出てまいりました。今、政府予算案が出ているところですが、特に先生の数とか先生の待遇ですね、教職調整額とか、そういったものがありましたので、裏の面をお開きください。新聞記事を載せております。

先生たちの教職調整額を、これを10%に増額するというので決着がついたようです。2030年までに10%にするということで、1年で1%ずつ上げていくということで、2026年からですかね。ちょうど1年後の1月の給料から1%上げていくということです。

真ん中ほどに「中学35人学級」ということで教員が増員されますけれども、来年度、令和7年度は国の予算で6年生までが35人学級です。佐賀県は今年から6年生も35人、県の予算でなっていますけれども、県の予算が要らなくなって、来年度からは国の予算、その次から中学校1年、2年、3年ということで、35人学級になっていくことも決まっているようです。ただし、中学1年生は、先ほど言った県の予算で既に35人学級にしておりますので、来年も佐賀県の場合は中学1年生は今までどおりとなっています。

そういうことですけれども、左側に「政府の教員確保策」という表がありますけれども、その中に「小学4年生にも教科担任制を拡大」しますということで、今までは高学年の教科担任制といって5・6年生だけでございましたけれども、小学4年生にも教科担任を導入し

ていくことになっています。

それと、次、表に戻りまして、国の教育の在り方を審議する中央教育審議会というのがありますけれども、ここに12月末に諮問が行われました。その大きな一つが初等中等教育における教育課程の基準等の在り方ということで、これが私たち教育をしている中で一番基となる学習指導要領の改訂を諮問したということで、10年前に諮問がしてありますので、ちょうど10年間隔で学習指導要領が変わるということになります。2030年ぐらいから本格実施ということになりますけれども、今日も新聞に載っておりましたけれども、この2030年頃にデジタル教科書を導入するということで、今もデジタル教科書はあるんですけども、今併用しているんですね。紙の教科書も使っていいし、デジタル教科書を使ってもいいということですけども、2030年ぐらいからはどちらかを選びなさいということが、市教委で選ぶのか、学校で選ぶのかが今のところ分かりません。

その他です。1月26日、今週の日曜日が第71回の全国文化財防火デーということで、武雄市では武雄の楼門辺りで放水して訓練が行われます。

それと、2月8日からは図書館・歴史資料館で特別展が開かれます。普通は企画展とっておりますけれども、今回は特別展ということで、佐賀大学と武雄市の文化交流事業がコラボしての特別展ということで、テーマは「佐賀を動かす」、そこは文字数が足らなかったのが削除しておりますが、「若き日の鍋島茂義」と、「若き日」というのがちょっとカットしておりますけれども、パンフレットが配られていると思っておりますが、2月8日から開かれるということでございます。

その1日前に市連Pとの教育懇談会ということで、もう御案内が来ているかと思っておりますが、19時から八百重でございます。

そして先ほど言いました郡市対抗駅伝、15日が嬉野のほうから武雄高校の前を通過して有田まで行くとなっておりますので、時間があられたら応援方よろしくお願ひしたいと思います。

今後の教育委員会の予定ということですが、もう御案内があっているかもしれませんけれども、2月19日はこども教育会議の後に定例教育委員会ということですが、これは2月の定例教育委員会。そして、例年どおり2月の下旬に臨時の教育委員会、そして3月19日が今年度最後の定例教育委員会となっております。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。教育長さんのほうより報告をいただきました。

大きく1番から4番まででございますが、その内容について、お尋ねしたいような内容がありましたら、挙手の上お願ひいたします。A委員さん。

○A委員

学校教育課にお尋ねですけども、来年度から教科担任制が拡充されるということで、小

学校4年生の教科担任も始まるということですが、教科担任のメリット、デメリットをどのように考えていらっしゃるか。

それからまた、来年度は武雄市で従来どおりの高学年、5・6年生のみ希望されているのか、あるいは4年生も含めて希望されているのか、お願いいたします。

○教育長職務代理者

学校教育課長さんよろしいですか。

○学校教育課長

小学校ではこれまで担任が多くの授業をしてきました。ですので、教材研究をしても1回授業で終わるといったところでもあります。

教科担任制にすれば、例えば、理科とか、算数とか、教材研究したものを学年とか複数回授業をする。そして教科担任制の教員は算数、理科の専門性で教材研究を行うことができるということがメリットとしてあります。

これまでは高学年に英語専科とか教科担任制を進められてきましたけれども、それをしていきますと、高学年と中学年の担任の授業数の逆転といいますか、中学年のほうが多くなっていく、高学年のほうが少ないということもありますので、その辺の授業時数の標準化と、あとはやはり高学年だけじゃなくて、中学年から算数とか、そういったものはある意味学力をつけていくために教科担任制を取り入れようとしているところです。

○教育長職務代理者

早速令和7年度からその計画は進んでいるということでもありますか。

○学校教育課長

はい。

○教育長職務代理者

A委員さん。

○A委員

武雄市としては4年生も導入される予定がありますか。

○学校教育課長

はい、あります。

○教育長職務代理者

よろしいですか。

○A委員

はい。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

ほかに委員さん方から御質問等ありませんか〔「なし」と声あり〕。

先ほどその他の内容では、「佐賀を動かす」、その辺の話とか、それから、定例教育委員、またはこども教育会議等々の時間とかは後のほうでもちょっと出てきますし、あと図書館・歴史資料館長さんからも説明いただきますので、ここではその程度で終わっておきますが、質問、補足等ありましたらここで言うてもらってもいいですが、後でいいですか。どちらがいいですか。早いほうがいいですか。

じゃ、すみません。ここで館長さんお願いします。はい、どうぞ。

○図書館・歴史資料館長

それでは、教育長報告の中でも言っていましたがお手元のほうに特別企画展のチラシと開場式の御案内ということで2枚差し上げているかと思います。

この事業は、先ほど教育長から言いましたように、文化交流事業ということで案内状にも書いていますけれども、令和4年度より佐賀大学と武雄市で武雄領主の鍋島茂義について共同研究を行ってまいりました。その分の結果ということで、佐賀藩政における鍋島茂義の役割とか、その政治的な活動について広く皆さんに知ってもらいたいということで、チラシのとおり、2月8日から3月9日まで約1か月間展示会をします。

今までは企画展ではなかなか開場式をやっていなかったんですけれども、今回、佐賀大学との交流事業ということで、展示会前日の金曜日、昼1時30分からですけれども、図書館・歴史資料館のほうで開場式を予定しております。

開場式には佐賀大学からは学長さんとか副学長さん、武雄市からは市長さんとか、教育長は当然出席していただきますけれども、議長さんとか参加してもらって開場式を行い、その後、センター長の佐賀大学教授の伊藤先生から展示解説までしていただくようになっております。ぜひよろしかったら、このときに開場式に参加してもらって話を聞いていただけたら、より鍋島茂義に対する理解が進むのかなと思っていますので、教育委員の皆様には万障繰り合わせて出席していただければと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。別紙のパンフレット等も含めて御紹介いただきました。御都合もあられるかと思いますが、御案内ということでもありますので、準備をお願いしたいということでございます。時間の変更等は後でお知らせすることがあろうかと思っています。

ほかに補足とか御質問ないですか〔「なし」と声あり〕。

それでは、先に進みます。

続きまして、5番、公開の議事のほうで、提出議案が(1)と(2)がございしますが、提出議案のほうは読み上げます。

本日の資料の1枚めくっていただいて、議事、公開というところを御覧ください。

第19号議案 武雄市保育所等給食費支援事業費補助金交付要綱の一部を改正する要綱とい

うことでございます。

御説明はこども未来課長さんですが、御出張ということで、前回に引き続き係長さんのほうで御説明をお願いします。

○こども未来課係長

こども未来課です。第19号議案について御説明いたします。

改正理由は、県の交付要綱が改正されたことによるものです。

この事業は、物価高騰による子育て世代の負担軽減と給食の質及び量を維持することを目的に、保育所等の食材費に係る経費を補助する事業であります。

近年の物価高騰を受け令和4年度から実施しておりますが、依然として物価高騰が続いていることから、今年度も引き続き県の補助事業が実施されることになりました。

そこで、市のほうでも12月補正予算で予算措置を行ったところですが、補助率は、1号認定児童については県が10分の10、2号、3号認定児童については県と市がそれぞれ2分の1となっており、県、市いずれも国の物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施いたします。

今回の改正内容は、別表で定める補助対象期間と補助基準額の変更であります。また、それに伴い、別紙様式も一部変更しております。

説明は以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。資料につきましては、2ページから6ページまで、提案理由も県の交付要綱改正に伴うということで御説明がありました。

この内容について御質問ありますか。B委員さんお願いします。

○B委員

まずは今年度も武雄市保育所等給食費支援事業費補助金の実施が決定されたことに感謝します。

今回の変更に関して事前にこども未来課の古川係長に確認させていただいたところ、この補助基準額変更に関しては、県が交付金を基に物価高騰率を踏まえ検討して基準額の算出方法などが変更されたということだったんですけれども、ただ、今回頂いている資料だけでは前年度比較ができないので、ちょっと分からないのですが、前年度より食材費は実際明らかに上昇している状況は明らかなんですけれども、今回の変更によって補助金額が全体的に上がっているというわけではないようです。できれば、変更前との比較ができるように記載の方法をしていただきたいと思いますのと、やはりお米、野菜、そういうのを含めて、本当に食材費が上がる一方ですので、なかなか厳しい部分もあるとは思いますが、物価の上がり具合にある程度準じて補助率も上げていただけたらなと思っています。

以上です。

○教育長職務代理者

2つほどあったかと思うんですけども、比較表の見方、比較表の提示の仕方と、もう一つは要望みたいな形だったと思うんですけど、何か回答されることはありますか。はい、どうぞ。

○こども未来課係長

昨年度との比較ができなかったということで、新旧対照表をつけるべきだったと思っております。申し訳ございません。

確かにおっしゃるように、昨年度からすると、この補助基準額の算定の仕方が県のほうで変更になっておりまして、昨年は、給食費の場合、主食と副食とございまして、主食プラス副食の場合が7,500円というのが基準額でありまして、副食のみの場合が4,500円ということでありましたけど、それに対して物価上昇率を掛けて基準額を算定するという方式でありましたけれども、今年度についてはどちらも一律1万1,000円ということで、場合によっては高くなる、場合によっては安くなるということで、全体を通してみれば若干安くなる場所もあるのかなとは思っております。この基準額については、確かに県のほうとしても算定が安かったのではないかという意見もあったということで、令和7年度、来年度につきましては、今のところは未定でありますけれども、実施について検討されているということで、7年度については補助基準額についても見直されるものと思っております。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。今の答弁でよろしいですか。

○OB委員

ありがとうございます。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

ほかにございませんか〔「なし」と声あり〕。

なければ承認を採ってまいります。

第19号議案 武雄市保育所等給食費支援事業費補助金交付要綱の一部を改正する要綱に賛成の教育委員さんは挙手をお願いいたします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございます。承認されました。手続よろしくをお願いいたします。

続きましては、(2)の報告事項に入ります。①から④まででございます。

まず、①武雄市史編さん委員会「執筆者」の委嘱についてということで御説明いただけますか。総務課長さん。

○教育総務課長

教育総務課です。

①の武雄市史編さん委員会「執筆員」の委嘱についてということで、資料7ページを御覧ください。

武雄市史編さん委員会「執筆員」を佐賀大学名誉教授の宮島敬一氏に委嘱しております。任期は令和6年12月25日から市編さん事業終了までとなっております。

以上報告いたします。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。7ページを御覧くださいということです。

ここは報告事項ということで御承認いただいて、先に進んでいきたいと思えます。

それでは、②は令和7年度の学校閉庁日についてということで、学校教育課長お願いいたします。

○学校教育課長

学校教育課です。

8ページを御覧ください。

令和7年度の学校閉庁日、武雄市小・中学校の学校閉庁日について御報告いたします。

1、期日ですが、夏季休業中は令和7年8月10日日曜日から8月16日の土曜日まで、冬季休業中は令和7年12月28日日曜日とします。

目的としましては、教職員の働き方改革に向けての夏季休暇、年次休暇の取得推進としております。

その他に、学校閉庁日をここに定める根拠といたしますか、ことですが、令和5年度に学校行事検討委員会が開催されており、そこで学校閉庁日ということで、夏季休業中は曜日にかかわらず、8月10日から16日までの7日間を原則として実施すると。12月の冬季休業中、12月27、28日としておりました。12月でしたかね、定例教育委員会で令和6年度は12月28日を学校閉庁日としました。これも曜日にかかわらず28日としておりますので、令和7年度も12月28日を学校閉庁日としたいと思えます。

この時期に御報告いたしますのは、学校のほうでは令和7年度の年間行事計画を作成して次年度の準備を進めているところでありますので、ここで報告をいたしまして、これを受けて小・中学校のほうに伝達したいと思っております。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。教職員の働き方改革等ずっとこういう傾向になっております。新しく説明がありましたので、夏季休業中と冬季休業中の学校閉庁日については、この方向で進めていきたいということで、これも何か中身で。A委員さん。

○A委員

この学校閉庁日については、やはり学校としても非常にありがたいということで声をいた

だいています。

また、夏季休暇が3日から5日間になったことで、非常に休みやすくなったということで先生方も非常に好評です。

一方で、部活動の地域移行であるとか、そういった話がなかなか一朝一夕には進まない中で、いろんな支援が必要かなと思っております。当初予算にも関係しますので、まだはっきりしたことは決まっていないとは思いますが、学校には、学校の職員室等でお手伝いをするような、以前、スクールサポーター、現在は教育支援員という形での配置が進められておまして、来年度の文科省の概算要求でも、全ての小・中学校にスクールサポーター、いわゆる学校支援員を配置できるような予算措置がなされていると伺っております。

武雄市内でもまだまだ全ての小・中学校に配置はできていないと思っておりますけれども、現在の配置状況と来年度以降の考え方についてお尋ねしたいと思っております。

○教育長職務代理者

スクールサポーター等、支援員さんについての御質問と思っておりますけど、よろしいですか。学校教育課長さん。

○学校教育課長

ちょうど働き方改革も含め、新型コロナのコロナ禍というのがあったときにスクールサポートスタッフというのが取り入れられました。これは子どもたちへの指導とか支援とか、そうじゃなくて、学校の業務、例えば印刷とか、そういったものの支援ということの中身でした。それは満額じゃなくて、3分の1とかの補助で、残りの3分の2を市でいうところで、スクールサポートスタッフというのも学校教育課のほうでも検討はしましたけれども、子どもたちの支援に関わる生活支援員とか訪問相談員とか、そういったものをまずは充実していこうと。どうしてもやはり予算も限りがありますので、それを取り入れると生活支援員が減ってきたりとか、その辺のバランスもありますので、現在のところは武雄市のほうでは子どもに直接支援に関わる生活支援員とか、不登校じゃないですけど、訪問相談員とか、別室での支援員とか、そういったものに取り組もうとしているところです。

○教育長職務代理者

A委員さん、武雄市はこういう取組ですけど、何か県内の状況とか、A委員さん。

○A委員

県内の状況は把握しておりませんが、やはり国が働き方改革を推進する上で必要な人材ということで配置しておりますので、もちろん特別支援学級をはじめ、学級の学習支援に入る方は非常に助かりますし、1人で35人に教えるのは非常に大変だと思います。そうしたことも充足させた上で、そういう学校事務の支援という形で、教員業務の負担軽減に目を向けていただけたらなと思います。

というのも、県立学校ではかなり以前から用務員2人制度ということで、これは県立学校

の場合ですけれども、県立中学校を含めて、外回りをする用務員さんと職員室の中の庶務全般、印刷等をする専門の職員が必ず各学校1人ずつ配置されておりまして非常に助かっております。中間、期末テストの印刷であるとか、ふだんの宿題のプリントであるとか、そういったものをてきぱきと片づけていただけるので、授業をしている間にそういう仕事をしていただくということで、非常に各県立学校は助かっているという実情がありましたので、こういうのは小・中学校にも広がればいいなと思っていたところでしたので、来年度の文科省の概算要求で全ての学校にということで予算が上がっておりますので、市町の負担は5分の2でしたかね、5分の2必要ですけれども、ぜひとも予算化を今年度できなくても、来年度、再来年度と計画的に進めていただければ、本当に先生方は助かるのかなと思います。

全て自分ですするというのは小・中学校の文化みたいですので、やっぱりそういう意味ではある程度分業をして、負担軽減に御協力いただけたらなと思います。もちろん児童・生徒に直接関わる専門的な仕事も大事ですけれども、そういう負担軽減も含めて、今後予算獲得に御協力いただきたいと思います。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

各学校には用務員さんというのが規模によって配置はされていますけど、それは男女協働の中で男性、女性ということはある程度はあり得ないとは思いますが、学校によってはその辺の言葉というか、用務員さんたちの要望とかももしかしたらあるかも分かりませんので、その辺は教育総務課が窓口になるんですかね。用務員さんたちのお世話は、用務員さんの人事とか配置とか。ごめんなさい。お願いします。

○学校教育課参事

その担当は学校教育課になります。

○教育長職務代理者

そうですか。そういう要望も出ているということで、今後の検討課題にしておいてください。お願いいたします。

○学校教育課参事

はい。

○教育長職務代理者

それでは、学校閉庁日については終わりました、③が図書館の選書ということで、次のページから、毎回のようにこれだけの新しい本を新着資料として上げていただいています。

こちら辺は補足とかはよかったですか〔「なし」と声あり〕。

ありがとうございます。

それでは、④で各課等からの行事報告ということで、一応次の23ページからございますが、

発言のあらわれる課長さんなり、担当の方ありましたら挙手をお願いいたします。どちらからでもいいです。文化課から連絡がありますというのは、先ほどのとはまた違うんですか。

○文化課長

企画展のお話です。

○教育長職務代理者

そうですね、ありがとうございます。はい、どうぞ。こども未来課。

○こども未来課参事

行事報告のことに付いて追加をお願いいたします。

25ページのところになります。1月18日の土曜日ですけれども、男性の育児参加推進事業としまして“ザ★男会”というのを実施しておりますが、1月18日土曜日10時から“ザ★男会”を実施しております。追加をお願いいたします。

以上です。

○教育長職務代理者

追加ですね。

○こども未来課参事

はい。行事報告の中の追加になります。

○教育長職務代理者

1月18日にあったということですね。

○こども未来課参事

はい。

○教育長職務代理者

ほかに。

○図書館・歴史資料館長

図書館・歴史資料館です。

まだまだ先というか、ちょうど図書館・歴史資料館がリニューアルを平成25年にいたしまして、昨年末での来館者数がリニューアル後、985万人に達しました。この推移でいきますと、2月末ぐらいまでには1,000万人に達する予定です。ちょうど指定管理になって12年たらずに1,000万人になるだろうということで、日にちは分かりません。近々なってから、また次の教育委員会で発表できるかなと思いますけれども、今後の推移を見ながら、2月中には市長にも来てもらって、1,000万人のセレモニーを予定しておりますので、1,000万人になるということだけ御承知おきいただければと思います。

以上です。

○教育長職務代理者

すばらしいこれまでの図書館の活動というか、実績は着々と進んでいるかなと思います。

皆さんも、特に2月はちょこちょこ足を運んで、セレモニーに遭遇するか分かりませんので、よろしくをお願いします。ありがとうございます。

ほかに各課長さんから御報告、追加等はありませんか〔「なし」と声あり〕。

教育委員さんのほうから何か内容を見られて、C委員さん。

OC委員

27ページの新しい学校づくり課で、リーディングDXスクール事業の視察に2つほど行かれています。来年度も武雄市で継続されると思うんですけど、今後の方向性とか現状の課題とかをお話いただければと思います。

ちょっと報告書を見まして、当然令和6年度の報告はまだ上がってはいなかったもので、令和5年度を参照しましたら、自分で調節して学習できたりとか、協働的なのができていると書かれていて、一方で課題として上がっていたのが、情報量が増えることで文章を読むことが苦手な児童にとっての負担が懸念されると令和5度のほうの報告で上がっていて、あと私もちょっと参観して気になったのが、いつでもタブレットとかで授業の内容とかアクセスできるので、授業時間外で目当てを考えたりとか、そういう作業というのが子どもたちの負担になっていないかなというのがちょっと気になったので、その点も踏まえて、現状と課題、今後の方向性なども聞かせていただけたらと思います。お願いします。

○教育長職務代理者

リーディングDXスクールについて御質問ですけど、よろしいですか。お願いいたします。

○新しい学校づくり課長

この国の事業がスタートしたのが今年度が2年目になっております。今後、この2年間に研究を進めたことで、リーディングDXのそもそもの目的が、やはり子どもたちが個別最適で協働的な学びを進めながら、主体的に協働的に充実した学びを進めていくというところにありますので、その方向性は今後も続いていくということで、これまで指定校が武雄中校区内、あと武雄北中校区内で実施をしてきましたので、次の来年度以降については3年ほど時間をかけて、指定校には受けていない学校にも拠点校として担っていただきながら、全ての学校で全ての先生方がやはりこの事業に取り組んでいく、事業を進めていきたいと考えております。

どうしても皆様からタブレットだけを使った授業を行うと勘違いされてしまうんですが、そうではなくて、やはりこれまでの一斉授業も行いながら、どの程度子どもたちの自主的な主体的な授業を組み込んでいくかということに今後進んでいくと思いますので、そこは来年度以降もしっかり武雄市のほうで全体で取り組んでいきたいと思っております。

先ほどありました授業以外で子どもたちがという点については、やはりそういう学びの影響を残していくことがこのタブレットのメリットというか、学習しやすくなっている点でもあるので、ただ、それによって子どもたちに当然今の学びの姿が全てじゃなくて、やはりこ

れから現場の先生方が議論をしながら、どのような形で使っていったらいいかというのはまだこれからどんどん進めていく部分でありますので、懸念されている分については、現場とも市教委でも話をしながら、どういった授業の進め方がいいのかというのは、やはりこれからもどんどん研究を進めていくべきであると考えているところです。

以上になります。

○教育長職務代理者

議会でも出たり、教育長さんがお答えされていたような内容かとも思ったりもするんですけど、何か皆さんから加えて御報告とかありましたらですが、一応学校のほうもこれから先、学校内の評価、総括、もちろん市全体での総括とかもあるので、またそういう情報も公開されていくと思うので、C委員さんにとってみたら気になるところではあるとは思いますが、そういうのをお互いにしっかりと見ながら、発言もできたらなどは思ったりもします。

何かほかにございませぬね。よろしいですか。C委員さん、今の答弁でよろしいですか。

○C委員

はい。すみません。また質問内容が重なってしまったかもしれません。

○教育長職務代理者

また連絡、情報をください。

ほかによろしかったら先に行きます。

非公開の分は今日をございませぬので、次回の開催日程ということで、先ほどもちょっと言いました2月19日の水曜日ですが、こども教育会議の案内は市長さん名で来ていましたので、13時30分から14時30分まで、この4階の災害対策本部でありまして、その後で、定例だと15時からなんですけど、ちょっと教育長さんのほうに視察じゃないけど、県のほうからお客様が見えられて、どうしてもそこに立ち会わないといけないということで、2月19日は16時からということに変更になりますので、教育委員さん、また執行部の皆さんは御存じだったかも分かりませんが、「15時」が「16時」に変更になりますので、ちょっと御予定を入れていただきますようによろしくお願いいたします。特別に内容はありません。

その他ということで、ほかにもちょっとお配りされているような資料とかがあるかとは思いますが、そういう補足説明なり、最初の教育長さんの報告とか、皆さん方からの御質問の中で、その他で申し述べるようなことがありましたら、挙手の上お願いいたします。どなたからでも結構ですけど、特別にないですか〔「なし」と声あり〕。

では、ないようでしたら、1月、月が終わるように教育委員会もさっと終わりました。内容は充実したものだったと思います。

これから先、2月初め、松尾教育委員さんや理事さんには、また雄武町に寒い中に、寒さに負けないように元気に帰ってきていただくことを願いつつ、1月の定例教育委員会を終わりたいと思います。ありがとうございました。

午後3時44分 閉会